

## 人権理事会 現代的奴隷制に関する専門家が発言

2019/09/09

国連人権高等弁務官事務所

現代的形態の奴隷制に関する特別報告者が人権理事会で発言した。内容は以下のとおり。世界では4,000万人以上が奴隷状態にある。そのうち4人に1人が子どもであり、60%以上が民間分野で労働を強制され、98%の女性と子どもが性暴力を受けている。環境悪化、移住、人口の変動の結果、搾取され奴隷状態に置かれる人々は増加傾向にある。ますます多くの人々が強制労働、隷属的な結婚、子ども婚に陥る中、我々は傍観してはならない。政府と企業は奴隷制を終わらせるために今すぐ行動しなければならない。奴隷制は公衆衛生費用の増加、生産性や収入の損失、環境の悪化につながり、経済的にも利益がない。奴隷制反対の努力は組織的・科学的・戦略的・持続的・賢明なものでなければならない。政府と企業はさらなる資源を投じ、公共政策を採択・実施することにより、奴隷制の中止のために断固たる行動をとらなければならない。